

第1回総括タスク 議事録

1. 日時 平成 18 年 1 月 16 日 (月) 15:00 ~ 18:20
2. 場所 日本電気協会 C 会議室
3. 出席者 (五十音順 , 敬称略)
出席委員 : 飯塚主査 (東京大学) , 渡邊副査 (東京電力) , 岡野 (九州電力) , 長谷部 (原子力安全・保安院) , 宮越 (三菱重工業) , 結城 (原子力安全・保安院)
事務局 : 池田 , 長谷川 , 国則 (日本電気協会)
4. 配付資料
資料 No.1-1 品質保証分科会 / 総括タスクグループ活動計画メモ
資料 No.1-2 「 J E A C 4 1 1 1 - 2 0 0 3 原子力発電所における安全のための品質保証規程」平成 17 年度講習会 (平成 18 年 3 月 8 ~ 9 日) の開催について
資料 No.1-3-1 DS338 Draft9 : マネジメントシステムコード
資料 No.1-3-2 DS339 Draft9 : マネジメントシステム適用ガイド
資料 No.1-3-3 DS338 Draft8 の対訳
資料 No.1-3-4 DS338 , DS339 Draft7 に対するコメント
資料 No.1-3-5 DS338 Draft 7 に対する現行規制の対応状況
5. 議事
 - (1) 総括タスクの活動計画について
飯塚主査より , 資料 No.1-1 に基づき , 総括タスクの設置 , 運営 , 検討事項について説明があり , 検討事項の項目に沿って本日の議論を行うこととした。
 - (2) 検討会の組織構成 , 実施事項の検討について
分科会の下部組織である現検討会 , 作業会の見直しについて検討した結果 , 以下の方針を確認した。
 - ・ 分科会の下部組織として , 検討会 , 作業会および J E A C 4 1 1 1 普及タスクという , 部分的に任務の重なる複数の組織が存在しているが , 重複性を排除するよう現検討会 , 作業会 , 普及タスクを廃止し , これらの組織の任務を集約した新検討会を設置する。
 - ・ 品質保証分科会は , 新検討会で作成する原案を審議し規格の分科会原案を作成することを主たる任務とし , 新検討会は品質保証分科会の方針に沿って , 分科会が担当する規格の制定・改定・廃止の検討会原案を作成し , 必要に応じて関連する国際規格を調査・検討し , また従来普及タスクが行っていた J E A C 4 1 1 1 の普及に係る講習

や研修の企画，実施や委託，審査等を行うことを任務とする。

- ・ 新検討会は，現普及タスクメンバを主体に，実効的な運営が可能となる実働的なメンバで構成する。
- ・ 新検討会の名称は，従来どおり品質保証検討会とする。

今後具体的な手順は，以下のとおり進めることとした。

- ・ メンバ構成を含む新検討会設置提案を総括タスクで検討・作成する。
- ・ 事務局より，提案を分科会委員に配信し，コメントを募る。
- ・ コメントを総括タスクで検討し，必要な反映を行った提案を，3月1日開催の第15回品質保証分科会に正式に上程する。

(3) 新体制における分科会運営方法の検討について

分科会活動に関する企画立案は総括タスクで行い，企画に基づく具体的な作業は分科会の指示により検討会で行い，検討会案に対する最終的な審議は分科会で行うという業務分担を原則とする。

(4) JEAG4101-2000 の今後の取扱いについて

JEAG4101-2000 は，ベンダーとの調達契約などで現在も使用されている例があるが，構成の異なる類似規格が存在するのは混乱の原因になるため，必要な過渡期間を設けたうえで廃止すべきであり，今後，JEAG4101 を廃止すると仮定して，予想される影響や問題と代替案，ならびに，ベンダーとの調達契約に使用する品質保証規格に関する解説を JEAG4121 に追加することを，新検討会で検討する様分科会に提案することとした。

(5) 改定中の IAEA 基準の検討について

改定 IAEA 基準の中で認識すべき内容や想定される懸念を，新検討会で確認する様分科会に提案することとした。

(6) 検査改善 PT の解釈明確化チームとの関係について

現在，規格策定に関与した委員も参加して，検査改善 PT において規格の解釈を明確化する必要性の検討を行っているが，必要と確認された場合は委員を經由して迅速に委員会に連絡され，規格策定団体として解釈に関する審議を行い，規格改定の必要性も検討する体制としていること，また，外部からの質問として委員会にインプットされ結果を回答する仕組みは，既に規約で定められている質問（質疑応答）に対する審議フローに従うことを確認した。

(7) JEAC4111 の講習会の内容について

以下の点に留意して講習の内容を検討する様、1月24日開催の第4回 JEAC4111 普及タスクに進言する。ただし、3月8,9日に計画されている今年度の講習会への反映が時間的に難しい場合は、次年度の講習会計画に反映すること。

- ・ 規格各条項の要求事項の意図や、要求した狙いを詳しく説明すべきである。
- ・ 導入後年月が経っており、現状の問題点・課題をケーススタディも含めて講習すべきである。
- ・ より有効なアンケートとする様、事前に経験した事例に対する疑問点があれば受け付ける等の方法も含め、アンケート内容を見直すべきである。

(8) その他

次回の総括タスク開催は、4月中旬を目途にし追而調整することとした。

以 上